

ファッション
One Point
アドバイス

ファー人気が続き
足元もファー!

部分使いのファー自体は昨年同様、この冬もトレンドアイテムになっていて、特に、靴を飾るファーは大人気のようなので。そこで冬にむかうこの季節に、購入したいのが、毛足が長いファーサンダルです。



足元をゴージャスに見せるインパクトは抜群。リアルファーではなく、カラフルなフェイクファーが良いでしょう。ファッション感覚の高い人にとって、靴は自身のファッションをアピールできる優れたアイテムですが、足元は、服以上に汚れる場所でもあります。リアルファーだと、普段使いしづらばかりか、手入れも大変。フェイクファーなら、カビや毛抜けも気になりませんのでお勧めです。

そして、このファーと組み合わせるサンダルの革は、ファーとの相性も良く、ドレスシーさを十分に醸し出せる起毛タイプが良いでしょう。

起毛革にはヌバック、スエード、ペロアの3種類があり、その特徴は次の通り。ヌバックは革の銀面(表革)をサンドペーパーなどでベルベットのように起毛させた革で、少々マットな仕上がり感の革。スエードは革の裏面を起毛した革なので、ヌバックよりも毛足が長くなります。また、ペロアはスエードと同様、裏面を起毛させたもので、スエードよりも毛足の長いものを指します。ヌバックよりも柔らかい革素材を使っていますので、肌なじみも良く、触ると温かく感じます。

Clipbox Topics

「肩が楽」をアピールして ヒット中のトートバッグ

オリジナルのアメリカンロゴが特徴的な雑貨メーカーのジェニーズトレーディング(大阪市)のバッグ「パワートート」がヒットしていると繊維業界の専門紙・織研電子版が伝えています。



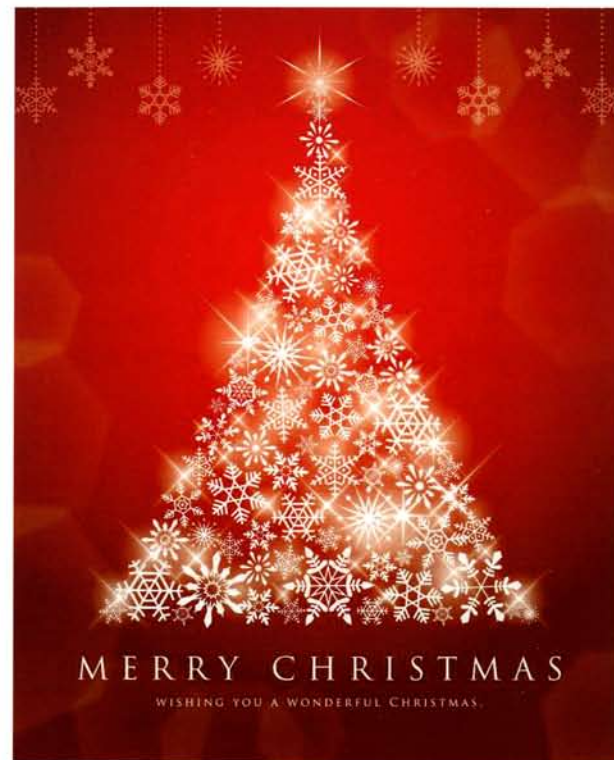
「肩が楽」なパワートート(織研電子版:2017/11/07)

厚手のコットンキャンバスを使い、手提げ部分と本体部分を1枚の生地で作し、耐久性を高めたもの。持ち手部分を幅広にすることで、重い物を入れたときも肩が痛くなりにくいということが評判になってヒット商品となりました。しかし、この商品は発売から10年以上が経っているもので、メーカーとしてはこのことを強調することなく販売していたのですが、この評判を聞いて「肩が楽なトートバッグ」と打ち出し方を変えたことでヒットにつながったのだそうです。このヒットを受けて、従来2柄だったものを、今秋冬物からハワイアンなど15柄に広げて一気に拡大する計画ということなのです。

くらし応援ニューズレター

HomeDry News

ホームドライニュース No. 76



ファッション・ワンポイント:この秋のアイテム・シャツワンピース
クリップボックス・トピックス:リユース・ファッションが急拡大
衣類のケア講座:水洗による問題点
衣生活の知恵:パイルニットは毛羽が落ちやすい



衣類のケア講座

ドライクリーニングの発明

●ドライクリーニング以前は高級ファッションを洗うことはできませんでした

人が衣服を着るようになって約 1 万年とされていますが、フランス語でモードといわれるファッションの流行文化が誕生したのは 18 世紀とされています。



18 世紀末に発行されたフランスのファッション雑誌

当時の貴族のフォーマルウェアやファッションには、世界各地から集められたカシミア、シルク、ウールなどの素材が使われ、宝飾類なども縫い付けられたものもありました。

これらの服飾製品が汚れても、水洗いすると縮

んだり光沢がなくなったり、変形したりすることから丸洗いがすることが困難だったのです。このため、体臭が染み込んだ汚れっぱなしの服飾品に香水をふりかけて着ていたというわけです。

●風合い、光沢、形を変えず洗うために発明



2004 年 3 月 6 日テレビ朝日「ビートたけしの! こんなのはまずでは!!」制作協力: 品質情報研究所

ドライクリーニング技術を発明したのは、19 世紀初頭のパリの仕立て屋さんであったとされています。テーラーのベランさんが、自分で作った高級フォーマルウェアが汚れたまま着られていることに悩んでいた時、うっかりランプのオイルを汚れたテーブルクロスにこぼしてしまったところ、その部分だけが、風合いも光沢も変わらないまま汚れが落ちていたことを見て、水ではなく油剤で洗うドライクリーニングという方法を発明したとされています。

●ファッションの普及に貢献しています

気軽に利用できるドライクリーニングの発明によって、多様な素材やデザインのファッションを何度も洗って着ることができるようになりました。このことによってドライクリーニングはファッションの発展に貢献してきたといえます。



金属イオンが漂白反応を過激にします



18 金などのチェーンからは、銅イオンが汗に溶け出して衣類に浸透します。また、時計のステンレスベルトからも鉄イオンが溶出します。

白いワイシャツやブラウスなどの水洗い製品については、家庭での酸素系漂白剤による処理と同種の穏やかな漂白処理を行っています。漂白などの化学反応は、一般に触媒(しよくばい)といわれるものによって、過激に進行します。触媒は銅や鉄などの金属イオンです。このことによって、綿、麻、レーヨン、テセルなどの植物由来の繊維は分解してしまい、穴あきや破れなどの損傷にいたることがあります。